佐賀県の地震活動概況（2022 年 11 月）

令和 4 年 12 月 7 日
佐 賀 地 方 気 象 台

【11 月の地震活動概況】

11 月に佐賀県内で震度 1 以上を観測した地震は 1 回（下図領域外）でした（10 月は 1 回）。

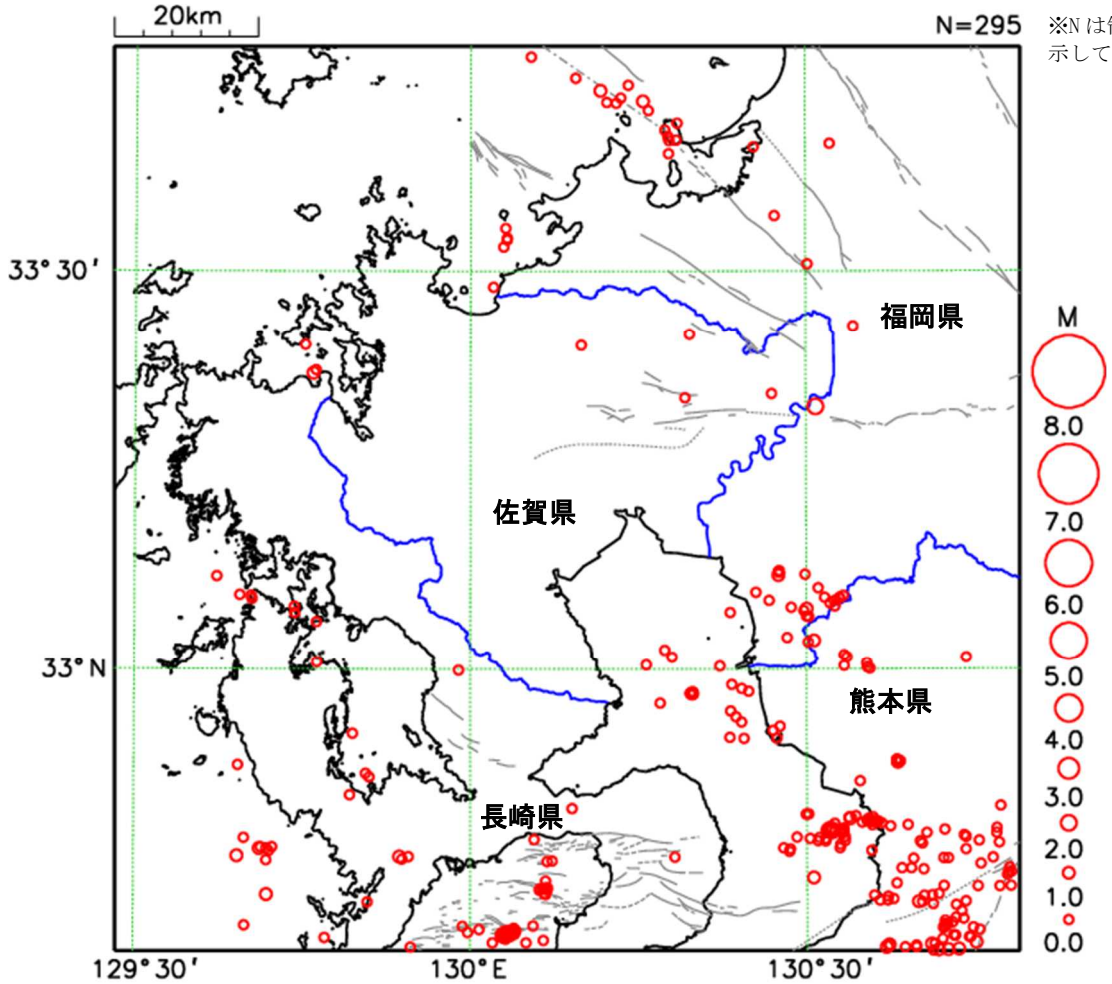


図 1 震央分布図（2022 年 11 月 1 日～30 日、深さ 30km 以浅、M≧0.0）
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

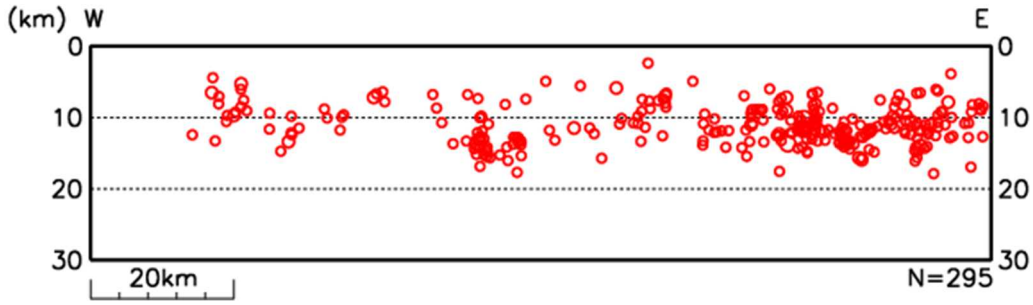


図 2 断面図（2022 年 11 月 1 日～30 日、深さ 30km 以浅）
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

熊本県熊本地方の地震（1 頁震央分布図領域外）

24 日 20 時 20 分に熊本県熊本地方で M4.0 の地震（深さ 14km）が発生し、熊本県の熊本市、宇土市、宇城市などで震度 3 を観測したほか、九州地方及び山口県で震度 2～1 を観測しました。佐賀県では、上峰町で震度 1 を観測しました（図 3、表 1）。

今回の地震の震央付近（図 4 領域 a ）では、「平成 28 年（2016 年）熊本地震」が発生しています。この領域では、2022 年 6 月 26 日に M4.7 の地震（深さ 9km、最大震度 5 弱）が発生し、佐賀県では、佐賀市、小城市などで震度 2 を観測したほか、県内の広い範囲で震度 1 を観測しました（図 4、図 5）。

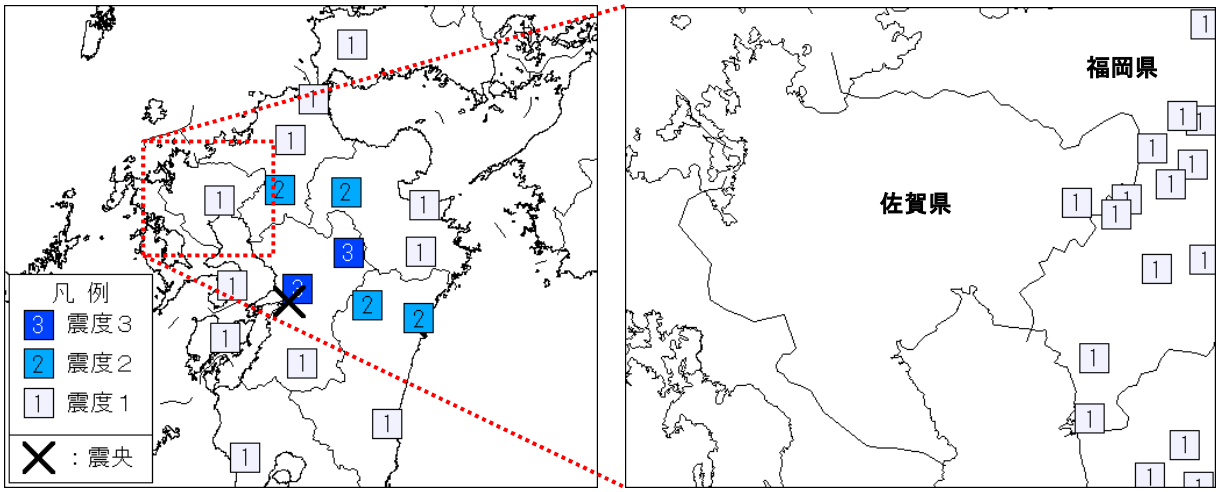


図 3　震度分布図　24 日 20 時 20 分　M4.0
（左図は地域別、右図は観測点別）

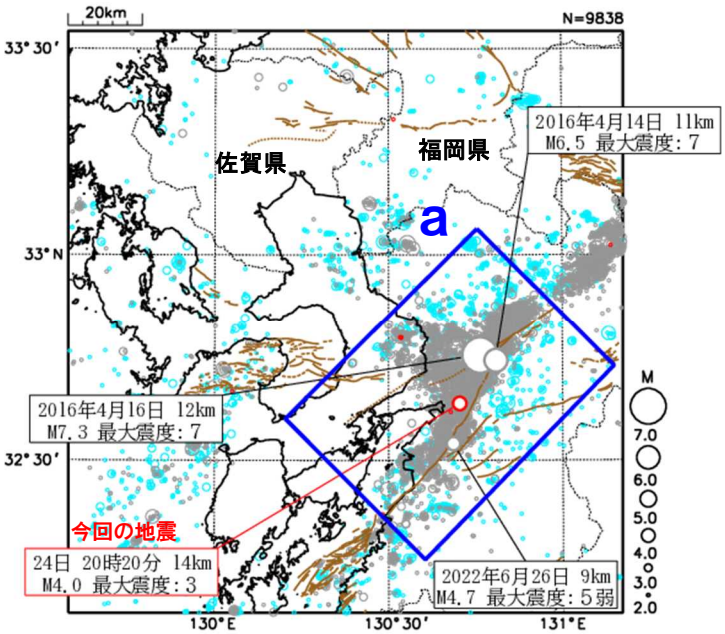


図 4　震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2022 年 11 月 30 日、
深さ 0～30km　M≧2.0）
※2016 年 4 月 13 日以前に発生した地震を薄青色、
2016 年 4 月 14 日以降に発生した地震を灰色、
2022 年 11 月 1 日以降に発生した地震を赤色で表示
※図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価
による活断層を示す

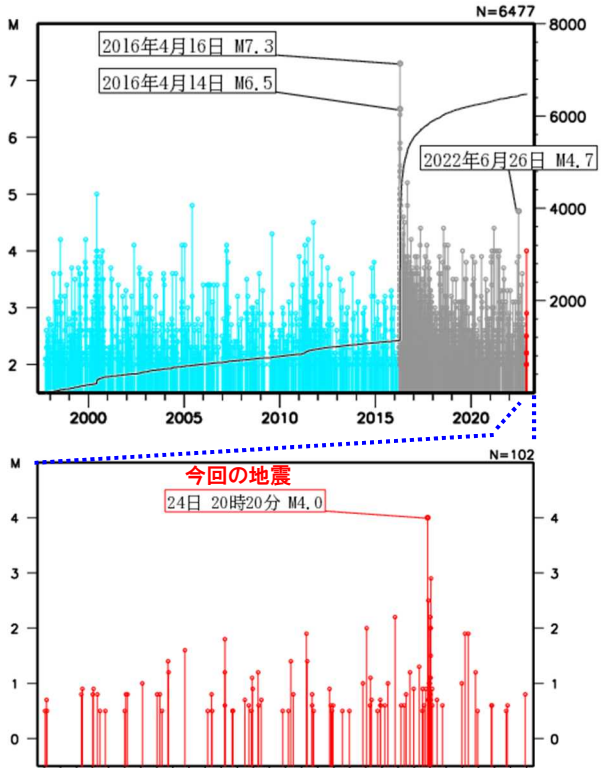


図 5　図 4 領域 a の地震活動経過図
および回数積算図
上段：1997 年 10 月 1 日～2022 年 11 月 30 日
下段：2022 年 11 月 1 日～2022 年 11 月 30 日
（下段は、M≧0.5、地震活動経過図のみ）

表１　佐賀県内の震度観測点で震度１以上を観測した地震（2022 年 11 月 1 日～30 日）

地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
11 月 24 日 20 時 20 分	熊本県熊本地方	32°38.2’N	130°42.2’E	14km	M4.0
佐賀県　震度　1 ： 上峰町坊所＊					

・「＊」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

解　説　資　料
佐賀地方気象台

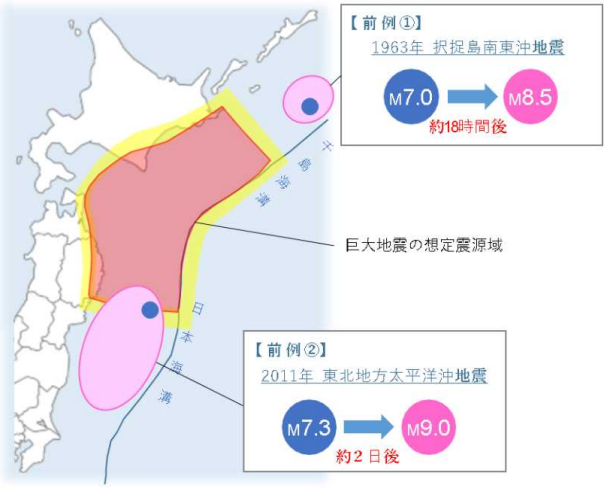
北海道・三陸沖後発地震注意情報について

令和４年 12 月 16 日から、北海道・三陸沖後発地震注意情報の運用を開始します。

▶北海道･三陸沖後発地震注意情報とは？

日本海溝･千島海溝沿いの領域では、モーメントマグニチュード（Mw）7クラスの地震が発生した後に、更に大きな Mw8クラス以上の大規模な地震が発生した事例が2事例確認されています（右図）。

巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するため、日本海溝･千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域とその周辺でMw7以上の地震が発生した場合には、「北海道･三陸沖後発地震注意情報」を発信し、大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっているとして、後発地震への注意を促します。



「日本海溝･千島海溝沿いの後発地震への注意を促す情報発信に関する検討会報告書の公表等について」（気象庁 HP）
https://www.jma.go.jp/jma/press/2211/08b/20221108.html
「北海道･三陸沖後発地震注意情報の解説ページ」（内閣府 HP）
https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/index.html

▶西日本では南海トラフ地震に備えましょう

西日本においては、南海トラフ沿いで大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まったと評価された場合に、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。

南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国･九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性がありますので、大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。

「南海トラフ地震について」（気象庁 HP）
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html